

湯梨浜中学校だより



湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資（令和3年5月17日）

新型コロナウイルス（変異株）感染拡大防止の再徹底

新聞等でご承知のように先週末、鳥取市内の県立高校で部活動を中心にクラスターが発生しました。やはり変異株は感染力が強いようです。

本校では、自転車で登校するときにはマスクを外している生徒も生徒玄関を入るときにはポケットから取り出してきちんとつけている姿が見られます。手洗い場で石けんを使ってこまめに手洗いをしている生徒もいます。いつしか私も帰宅時や食事前はまず石けんで時間をかけて手を洗う習慣が身に付きました。

保護者の皆様には日頃から生徒の体調管理、毎朝の検温、マスクの持参等、感染拡大防止にご協力いただき感謝申し上げます。

学校では大勢の人間が触る部分を中心に、当番職員や教員業務アシスタント職員が、時間帯を分けてアルコール剤を使って消毒をしています。朝は正面玄関や夜の施設使用で入校者のある一般玄関、体育館・武道場の出入り口、体育館トイレを中心に消毒しています。各教室等は生徒が下校した後に行っています。ちょっと寂しいですが、今も給食は全員前向きで無言の食事です。生徒たちはいろいろ窮屈に感じることもあると思いますが、変異株のウイルスは非常に感染力が強く、若い人でも重症化することが分かってきましたので、さらに嚴重注意の日々が続きます。こうした状況にもめげずに、明るく元気に学習に向かっている生徒たちを見ると、とても頼もしく思えます。同時に、やはり何とかして臨時休校になるような事態は避けたいと思うところです。



部活動については当面、東部地区との練習試合を見合わせています。大会等は個別に判断しています。また、校内の部活動でも、運動や演奏をしているとき以外の休憩やミーティング時は常にマスクを着用すること、更衣室や部室を使用する際は短時間で、会話せず、密集をさけることなど、感染対策を徹底していきます。

人権への配慮を

感染力の強い変異株ウイルスは、その経路を特定することが難しいこともあるようです。感染への恐怖からか、中には医療従事者や感染者を責めるような言動をする人がいるようですが、誰が、いつ、どこで感染するか分からない、たまたま今回は自分が感染しなかっただけかもしれないのです。感染した後、何日も症状がなく、気づかぬうちに広めてしまうようなウイルスです。感染者を責めるより、もし感染しても自分が広げないためにはどうしたらよいか考えたいものです。充分対応しているつもりでも感染することがある強いウイルスですので、これまで以上にマスクも距離も換気も手洗いも大声の会話も、気をつけたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

